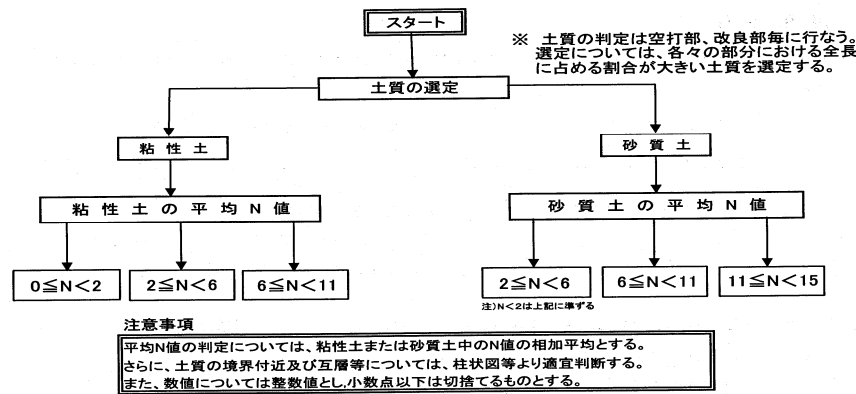


(1)-1 積算における土質決定のフロー



資料-①
MIT S工法積算資料 P-2

注意事項
平均N値の判定については、粘性土または砂質土中のN値の相加平均とする。
さらに、土質の境界付近及び互層等については、柱状図等より適宜判断する。
また、数値については整数値とし、小数点以下は切捨てるものとする。

資料-②
MIT S工法積算資料 P-3~4

2-1 施工機種の選定

対象土質・粘性土
表 2.1 粘性土 0 ≤ N < 2

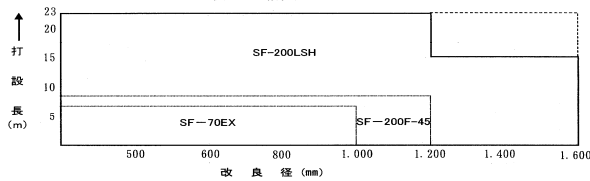


表 2.2 粘性土 2 ≤ N < 6

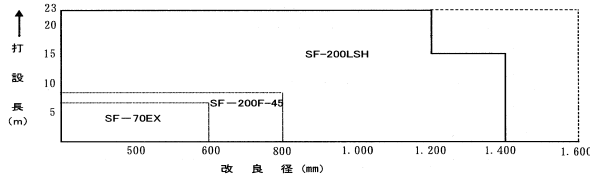
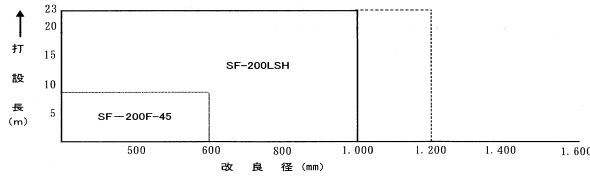


表 2.3 粘性土 6 ≤ N < 11



2-2 施工機種の選定

対象土質・砂質土

表 2.4 砂質土 0 ≤ N < 6

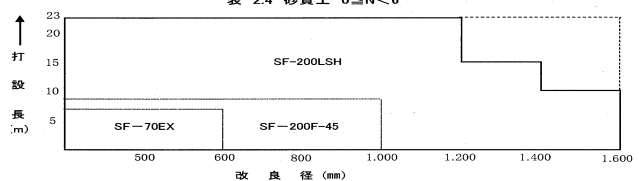


表 2.5 砂質土 6 ≤ N < 11

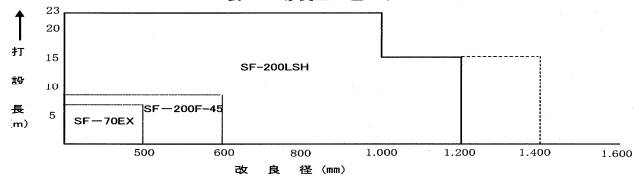
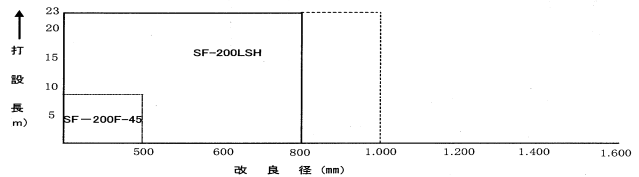


表 2.6 砂質土 11 ≤ N < 15



改良機種の攪拌翼の径と適用土質のN値との関係

機種	攪拌翼径	粘性土			砂質土		
		0 ≤ N < 2	2 ≤ N < 6	6 ≤ N < 11	2 ≤ N < 6	6 ≤ N < 11	11 ≤ N < 15
SF 70EX	φ 500mm	◎	◎	○	◎	○	×
	φ 600mm	◎	◎	△	○	△	×
	φ 800mm	◎	○	×	△	×	×
	φ 1,000mm	○	△	×	×	×	×
	φ 1,200mm	△	×	×	×	×	×
	φ 1,400mm	×	×	×	×	×	×
	φ 1,600mm	×	×	×	×	×	×
SF 200F 45	φ 500mm	◎	◎	◎	◎	◎	○
	φ 600mm	◎	◎	○	◎	○	△
	φ 800mm	◎	○	△	◎	△	×
	φ 1,000mm	◎	△	△	○	×	×
	φ 1,200mm	○	△	×	△	×	×
	φ 1,400mm	△	×	×	×	×	×
	φ 1,600mm	△	×	×	×	×	×
SF 200LSH (A) (B)	φ 500mm	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	φ 600mm	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	φ 800mm	◎	◎	○	◎	◎	○
	φ 1,000mm	◎	○	○	◎	◎	○
	φ 1,200mm	◎	○	△	◎	○	△
	φ 1,400mm	◎	○	△	○	△	△
	φ 1,600mm	◎	△	×	○	×	×

※ 協会提示

◎最適である場合
○条件に適合し良好である
△不適当と言えないが検討が必要
×条件に不適合なため、不可である
但し、○△については、含水比との関係で施工可能な場合もあり、検討を要する

※※ 当社提示

当社としては最初の○は不確実性が高いので、2番目の○を採用することとした。

資料-③